

地域公共交通確保維持改善事業に係る事業評価 (「姫路港～坊勢島航路 生活交通確保維持改善計画」に基づく事業)

1 事業評価について

(1) 事業評価の目的

地域公共交通確保維持改善事業に係る事業評価は、協議会が「生活交通確保維持計画（以下「計画」という。）」に位置付けられた補助対象事業について、事業の実施状況の確認、目標達成状況等の評価を行うことによって、補助対象事業がより効果的、効率的に推進されることを目的とする。

(2) 事業評価の項目

評価項目	内 容
事業実施の適切性	「計画」に基づく事業が適切に実施されているか。
目標・効果の達成状況	「計画」に位置付けられた定量的な目標・効果が達成できているか。
今後の改善点	実施した事業について改善点があるかどうかを事業の目的の達成状況を考慮したうえで検証したか。

(3) 事業評価の実施方法等

姫路市地域公共交通会議離島航路分科会において自己評価を行った。

2 事業評価の対象となる補助事業について

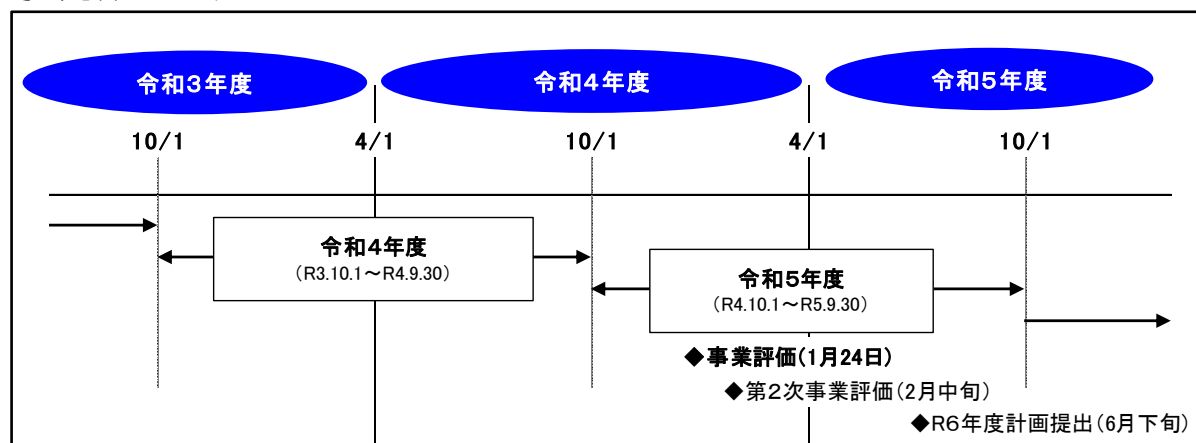
(1) 補助事業の概要等

- ① 事業の名称：地域公共交通確保維持改善事業（離島航路運営費等補助金）
- ② 計画の名称：生活交通確保維持改善計画
- ③ 協議会の名称：姫路市地域公共交通会議離島航路分科会
- ④ 航路事業者の名称：坊勢輝汽船株式会社
- ⑤ 航路の名称：坊勢～姫路（海上運送法第3条の規定に基づき許可を受けた航路名）

(2) 評価の対象期間等

- ① 補助対象期間：令和3年10月1日～令和4年9月30日
- ② 事業評価の対象期間：令和3年10月1日～令和4年9月30日

3 事業評価のスケジュールについて



4 自己評価の結果について

(1) 事業実施の適切性

計 画 内 容

1 事業目的・必要性

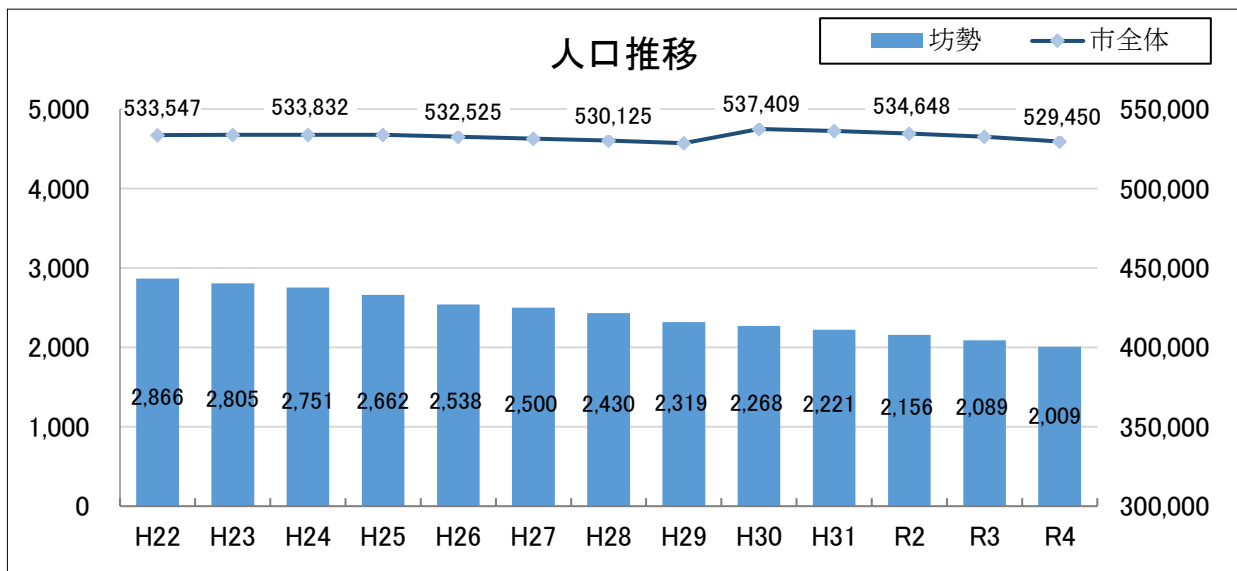
本航路は、離島住民にとって島外への通学や通院・通所、買物等の生活需要の確保のために利用しており、坊勢島と姫路港を結ぶ唯一の公共交通手段であることから、なくてはならない生活の足となっている。

島民人口は年々減少しており、また燃料価格の高騰や新型コロナウイルス感染症の影響が残る中、航路事業者独自の収入拡大と経営改善のみでは航路の確保・維持していくことは困難な状況にあり、引き続き離島航路の維持には国等の公的支援が必要な状況にある。

◇利用者数

- 令和4年度 219,027人（令和3年度比 +6,389人、令和元年度比 -12,338人）
- 令和3年度 212,638人
- 令和元年度 232,365人（コロナ前）

◇坊勢地域の人口推移



2 計画に記載する運航回数

(単位：回)

運航系統	航路距離	船名	運航期間	運航回数
姫路 ～男鹿 ～奈座	22.1km	ぼうぜ2	令和3年10月～令和4年9月	3,520
		はるか	令和3年10月～令和4年9月	3,840
		クイーンぼうぜ	令和3年10月～令和4年9月	1,400
合 計				8,760

実施内容及び達成状況

◆ 令和4年度の運航回数は、8,614回で、計画の8,760回に対し、実施率は約98.3%。

なお、前年度実績と比較すると同数であった。

欠航回数は、146回（正月ダイヤによる休航10回が含まれるが、それ以外は台風等の悪天候による欠航）であり、前年度実績94回に対し52回の増となった。

※今年度は昨年以上に台風等の悪天候が多かったことで昨年より欠航回数が増加した。【表1参照】

※新型コロナウイルスの影響による欠航、減便はなし。

【表1】運航計画回数と運航実績

（単位：回）

運航系統	区分	10月	11月	12月	1月	2月	3月	上期計
姫路 ～男鹿 ～奈座	計画回数	744	720	744	744	672	744	4,368
	運航実績	744	708	692	734	672	726	4,276
	差引	0	▲12	▲52	▲10	0	▲18	▲92

運航系統	区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	下期計	計
姫路 ～男鹿 ～奈座	計画回数	720	744	720	744	744	720	4,392	8,760
	運航実績	720	744	720	744	744	666	4,338	8,614
	差引	0	0	0	0	0	▲54	▲54	▲146

自己評価の内容

（評価：○A・B・C）

- ◆ 令和4年度の運航実績回数は計画回数を下回ったものの、正月ダイヤによる休航以外は、すべてが悪天候による安全確保のための欠航であり、安全管理規程等を遵守し着実に安全運航に努めている。
- ◆ 利用者については、令和3年度に比べ増加しており、新型コロナウイルス感染症の影響が残るものの、一定の回復傾向が見られた。
- ◆ コロナ禍での感染拡大防止に向けた取り組みに努め、島民の交通手段として減便等を行わず、離島航路の確保維持に努めた。

(2) 目標・効果の達成状況

計 画 内 容							
<p>1 目標・効果</p> <p>離島航路の利用者は、坊勢島住民が6割を占めており、島民の人口減少による利用者数の減少から、今後利用者の大幅な増加は見込めないが、漁港や鮮度の高い魚介類を活用した坊勢島独自の企画等、観光客の拡大に向けた取り組みを検討し、生活需要以外の余暇需要の拡大を図る。</p> <p>また、クラウドファンディングや釣り大会・花火大会等の集客イベントを企画し利用者の増加に努める。</p> <p>航路における収益を確保していくには利用者数を維持することが重要であることから、<u>当計画の目標を「旅客輸送量」とし、令和2年度の実績値に人口減少を見込んだ221,805人を確保することを目指す。</u></p>							
実施内容及び達成状況							
<p>1 旅客輸送量</p> <p>令和4年度の旅客輸送量は、219,027.5人となり、目標の221,805人に対し2,777.5人下回る結果となった。</p> <p><u>前年度実績212,638.0人と比較すると、6,389.5人の増となった。</u></p> <p><u>新型コロナウイルスの影響はあるものの、一定の回復傾向が見られた。</u>【表2参照】</p> <p>◆ 新型コロナウイルス対策として</p> <p>国及び市の補助金を活用しターミナル内券売機前に、自動検温器と非接触型アルコール消毒機を設置し、また乗船口、船内に非接触型アルコール消毒機、空気清浄機を設置し、定期的に除菌シートによる消毒作業の徹底により、利用者が安心して利用できる環境整備に努めた。【別紙1参照】</p> <p>◆ 利用促進の取り組みとして</p> <p>旅客船の乗船券とバスの乗車券をセットにした企画切符の販売や、姫路市地域おこし協力隊により島の魅力を積極的に発信、事業者における観光パンフレットの作成など交流人口の拡大を図った。また、SNS等を活用し運航情報を発信するなど、利用者サービスの向上にも取り組んだ。</p> <p>さらにコミュニティバスとの連携により交通結節機能を強化し、島内交通との利便性向上にも努めた。【別紙2参照】</p>							
<p>【表2】令和3年度～令和4年度旅客輸送量 (単位：人)</p>							
年度	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
	人数 対3年度比	人数 対3年度比	人数 対3年度比	人数 対3年度比	人数 対3年度比	人数 対3年度比	
R4	20,604.0 97.3%	18,207.0 93.1%	17,297.0 102.2%	16,693.0 113.6%	12,704.0 87.4%	16,912.5 98.7%	
R3	21,180.0	19,550.0	16,919.0	14,693.0	14,528.0	17,129.0	
年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計
	人数 対3年度比	人数 対3年度比	人数 対3年度比	人数 対3年度比	人数 対3年度比	人数 対3年度比	人数 対3年度比
R4	17,959.0 110.3%	20,915.0 125.1%	18,185.0 108.3%	20,527.0 102.7%	21,357.0 105.2%	17,667.0 95.3%	219,027.5 103.0%
R3	16,286.0	16,720.0	16,795.0	19,997.0	20,300.0	18,541.0	212,638.0

旅客輸送量

※ R4目標値 221,805人

※ ○は、新型コロナウイルス感染症による措置期間（緊急事態措置、まん延防止等重点措置）

2 収 支

令和4年度の収支は、101,621千円となり、令和4年度における計画に対する実績差は、それぞれ収益184,300千円増、費用48,862千円増、収支差引損益は135,438千円の増となった。

【表3参照】

同じく前年度決算に対する実績差で見ると、収益184,259千円増、費用34,862千円増、収支差引損益149,397千円の増となった。

前年度決算に対する損益の主な要因は以下のとおりである。

◆ 運航収益では

前年度に比べ188,435千円の大幅な増となり、令和4年10月からの運賃値上げ実施による、値上げ前の回数券のまとめ買いによるもの。

これを除くと、利用者増による旅客運賃収入の増加となる一方でコロナ関連各種給付金の減少による営業収益は減少した。

◆ 運航費用では

燃料潤滑油費の高騰による燃料潤滑油費の増及び船員1名を確保したことにより船員費が増加。営業費用では、陸員の確保により増加した。

※ 今回、収益として得られた回数券のまとめ買いによる大幅な増収益は、次年度（令和5年度）以降の大幅な減収に繋がるものであり、中期的な視野に立ち評価する必要がある。

【表3】令和3年度及び令和4年度の損益

(単位：千円)

年度	区 分	収 益(A)			費 用(B)			差引損益 (A)-(B)
		運航収益	営業収益	計	運航費用	営業費用	計	
R4	決算額	390,485	3,835	394,320	193,539	99,160	292,699	101,621
R4	計画額	207,319	2,701	210,020	163,368	80,469	243,837	▲33,817
R3	決算額	202,050	8,011	210,061	168,968	88,869	257,837	▲47,776
R4-R3(決算額)		188,435	▲4,176	184,259	24,571	10,291	34,862	149,397

(参考) ◇回数券収入

R4年度：280,770千円

R3年度：92,330千円

◇燃料単価(主燃料) 燃料購入金額(実績)/燃料購入量(実績)

R4年度：87,218,516円/892,300ℓ=97.75円/ℓ(+19.52円)

R3年度：68,555,377円/876,300ℓ=78.23円/ℓ

◇中型船運航回数

R4年度計画：1,400回

R4年度実績：758回

R3年度実績：560回

自己評価の内容

(評価 : A ・ B ・ C)

令和4年度の利用者数は、計画を下回る結果となったが、前年度と比較すると増加しており、新型コロナウイルスの影響はあるものの、一定の回復傾向が見られた。

コロナ禍ではあるが、感染拡大防止に向けた取り組みを継続して実施し、利用者が安心して利用できる環境の整備に努めることができた。

また、企画切符の販売、SNS やパンフレットの作成など島の魅力を積極的に発信するなど来訪者の増に向けた取り組みを行い、Instagramやメール配信により利便性向上に取り組むなど、航路利用者の拡大に努めた。

収支として

コロナ禍での密回避から中型船による運航を感染対策の徹底を図ることにより小型船で対応するなど、中型船の運航回数の低減に努め、最小限の運航により経費節減に努めた。

費用対効果として

慢性的な船員不足の解消及び陸員を確保に努めるなど、安全・安心な運航の継続及び経営安定化に向けた取り組みに努めた。

(3) 今後の改善点

改善点があるかどうかを事業の目的の達成状況を考慮したうえで検証したか。

令和5年度においても、感染拡大防止に向けた取り組みの徹底を継続し、利用者が安心して利用できる環境整備に努める。

また、コロナ禍の密回避から中型船による運航を感染対策の徹底のうえ、小型船を中心とした運航とするなど、運航需要に応じた適切な船舶の活用を図り、経費節減に努める。

今年度は利用者数の回復が見られたが、令和5年度は新型コロナウイルス感染症の影響や島民人口の減少、運賃値上げによる影響も見込まれるため、家島本島や姫路市中心部との周遊企画、鮮度の高い魚介類を活用した独自企画や旅行代理店と連携した取り組みを検討するなど、潜在的ニーズに答えられるよう柔軟に取り組む。

事業者による新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けた取り組み

【取組事例①】ターミナル内券売機前等に、自動検温機、非接触型アルコール消毒機や空気清浄機を設置。また、船内に抗菌カーテン、抗菌座席カバーを設置したり、人が触る場所の消毒作業を実施するといった感染拡大防止に向け取り組む。



【写真①】券売機前の取組状況



【写真②】乗船口の取組状況



【写真③】船内の取組状況



【写真④】抗菌カーテンの設置



【写真⑤】抗菌座席カバーの設置



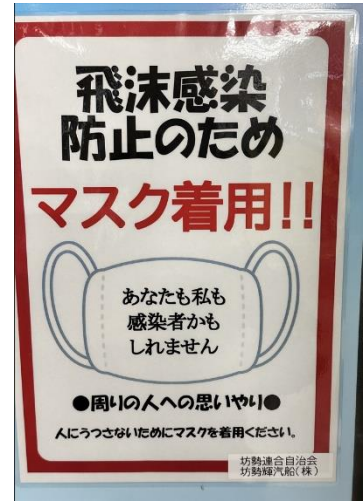
【写真⑥】船内消毒作業



【写真⑦】感染拡大防止の注意喚起

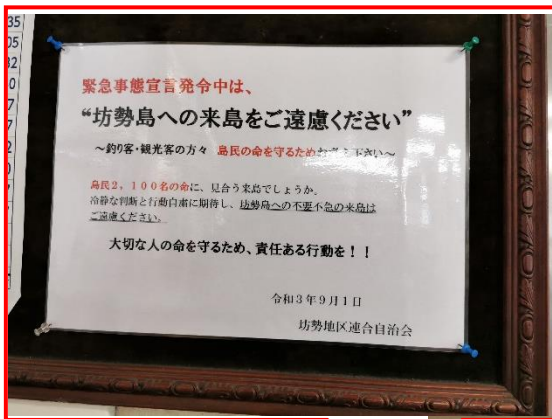


【写真⑧】船内の注意喚起1



【写真⑨】船内の注意喚起2

【取組事例②】安全安心な生活を確保するため、坊勢地区連合自治会による坊勢島への来島自粛要請の案内を掲示し、島民の安全確保に努める。



利用者拡大と利便性向上への取り組み

【取組事例①】 交流人口の拡大を図るため、旅客船の乗車券とバスの乗車券をセットにした企画切符を販売し、さらに島内の飲食店等で利用できる割引等サービスを付与した取り組みを実施。
 (令和3年8月16日～12月26日 販売枚数 428枚)

兵庫の隠れたリゾート地を求めて...

しま遊びきっぷ

路線バス・家島坊勢航路セット券

8月16日(月)～12月26日(日)
期間限定販売!!

島内のお店で使える/
見せトク割引
あるよ!

しま遊びきっぷ ～路線バス・家島坊勢航路セット券～

バス往復券(姫路駅～姫路港)と乗船券(姫路港～家島・坊勢)のセット券

高速いしよ	姫路港	2,000円	家島(美津津・常楽)
高橋ライナー	姫路港	2,000円	家島(美津津・常楽)
出船乗船券	家島	1,000円	坊勢島(徳富)
	坊勢島	1,000円	坊勢島(徳富)
	坊勢島	1,000円	坊勢島(徳富)

金額 大人1名 2,000円

発売期間 2021年8月16日(月)～12月26日(日)

有効期間 利用期間内1回限り有効

発売窓口 姫路駅前案内所・神姫バス神三宮バスターミナル
天候・交通状況等で運送・運休が発生した場合の
乗り継ぎ不能による払戻しはできませんので予めご了承ください。

見本

しま遊び切符 割引・サービス利用店舗一覧

しま遊び切符(半券)を下記店舗で見せてください
利用期間2021年8月16日～12月26日

※写真はイメージ

①料理旅館 おかべ (079-325-0340)
✓お食事の方に粗品進呈、宿泊者には飲み物サービス

②海がみえるカフェ スコット (079-240-9138)
✓ドリンク30円引き

③アワード ぐんいえしま庄 (079-325-2882)
✓合計金額から5%割引

④大立旅館 (079-325-0248)
✓合計金額から5%割引

⑤(一社)家島観光事業組合 (079-325-8777) (家島港ふれあいプラザ内)
✓レンタサイクル(電動)
3h以内1,200円→1,000円、5h以内1,500円→1,200円

⑥(有)高福ライナー (079-325-1970) (家島港ふれあいプラザ内)
✓レンタサイクル1日600円→500円

⑦割烹旅館 志みず (079-325-0777)
✓お食事の方、宿泊者にはソフトドリンクサービス
(宿泊者で希望される方には日本酒1合サービス)

⑧漁師民宿 森 (079-326-0735)
✓コース料理・宿泊金額から500円引き
(詳細につきましては、お電話等でご確認ください)

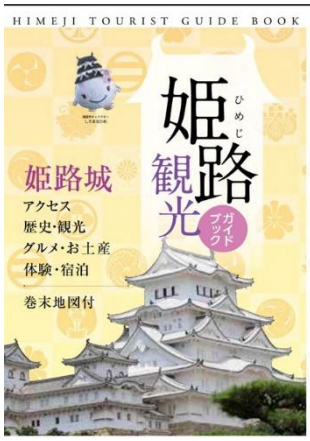
⑨天晴水産(株) (079-326-0525)
※提携付、のぼり旗が自印
✓お買い上げ金額から5%割引

※予約時、入店時に割引・サービスのご利用をお伝えください。
※お食事など事前のご予約が必要な場合がございます。
ご予約がない場合、お受けできないことがあります。
※店舗により14時までの営業の場合がございますので、乗船前等にご確認ください。

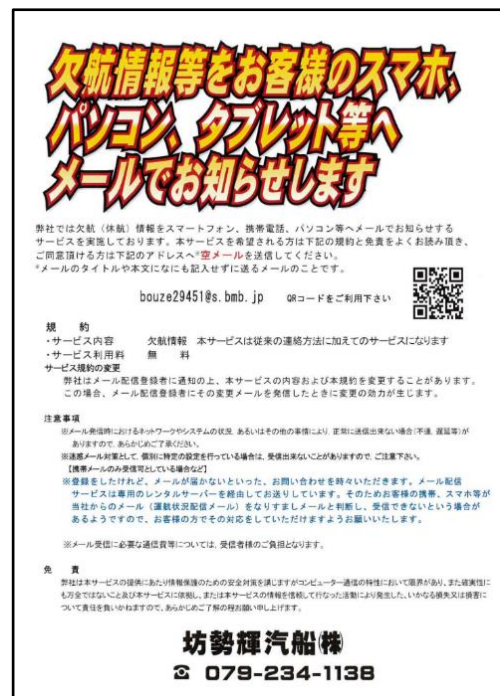
【取組事例②】 姫路市地域おこし協力隊と連携し SNS を利用した島の魅力の発信を行い、観光客、移住希望者の獲得に取り組む。



【取組事例③】事業者による観光パンフレットの作成や、姫路観光パンフレットへの広告掲載により観光客獲得に努める。



【取組事例④】インスタグラムやメールにより運航情報等を発信し、利用者サービスの向上に努める。



【取組事例⑤】コミュニティバスとの連携により島内交通利用者の利便性向上に努める。

坊勢コミュニティバス 運行時刻表

令和4年
10月1日より
ダイヤ改正!!

1~4便は2台で運行

お問い合わせ 姫路市 地域公共交通課 TEL.079-221-2493

月～土曜日(日祝運休)
※土曜日は午前1台で運行

1回100円 (小人は50円)
※就学費は無料(ただし保護者同伴に限り)
※乗車回数1人1回も乗る場合は乗車できずともので
ご注意ください

運行ルート・停留所位置

時刻表(月・火・水・木・金)

定期船別発着時刻	8:05	9:32	9:32	10:40	12:07
①サービスセンター前	8:20	—	8:53	—	9:31
②スポーツセンター前	8:22	8:40	8:55	9:13	9:33
③西ノ浦	8:25	8:38	8:58	9:11	9:30
④老人の家の前	8:26	8:36	8:59	9:03	9:27
⑤カヌラ	8:27	8:35	9:00	9:08	9:38
⑥おひっこ公園	8:28	8:34	9:01	9:07	9:39
⑦ぼうげい病院前	8:32	8:32	9:05	9:05	9:43
⑧鹿ノ島	8:34	8:28	9:07	9:01	9:45
⑨伊藤橋	8:37	8:25	9:15	8:58	9:48
⑩伊藤橋ターミナル 南	8:40	8:22	9:18	8:50	9:51
⑪伊藤橋ターミナル 北	8:45	8:22	9:23	8:50	9:56
⑫伊藤橋神社南	8:46	8:21	9:24	8:49	9:57
⑬伊藤橋	8:48	8:19	9:26	8:47	9:59
⑭坊勢西島	8:50	8:17	9:28	8:45	10:01
⑮坊勢南島	8:52	8:15	9:30	8:43	10:03
⑯サービスセンター前	—	8:14	—	8:42	—
定期船出船時刻	8:55	—	8:56	10:10	—
定期船出船時刻	13:37	—	13:02	—	13:40

午後便

定期船別発着時刻	9:52	9:52	10:52	11:52	9:52
①サービスセンター前	13:30	13:58	14:30	15:18	15:50
②スポーツセンター前	13:32	14:00	14:38	15:20	15:52
③西ノ浦	13:35	14:03	14:41	15:23	15:55
④老人の家の前	13:36	14:04	14:42	15:24	15:56
⑤カヌラ	13:37	14:05	14:43	15:25	15:57
⑥おひっこ公園	13:38	14:06	14:44	15:26	15:58
⑦ぼうげい病院前	13:42	14:10	14:48	15:30	16:02
⑧鹿ノ島	13:44	14:12	14:50	15:32	16:04
⑨伊藤橋	13:47	14:15	15:03	15:35	16:07
⑩伊藤橋ターミナル 南	13:50	14:18	15:06	15:38	16:10
⑪伊藤橋ターミナル 北	13:50	14:28	15:10	15:42	16:13
⑫伊藤橋神社南	13:51	14:29	15:11	15:43	16:14
⑬伊藤橋	13:53	14:31	15:13	15:45	16:16
⑭坊勢西島	13:55	14:33	15:15	15:47	16:18
⑮坊勢南島	13:57	14:35	15:17	15:49	16:20
定期船出船時刻	14:44	—	15:50	—	17:15

午後便のみ

時刻表(土)

定期船別発着時刻	8:05	9:32	10:40	12:07
①サービスセンター前	8:20	8:53	9:31	10:04
②スポーツセンター前	8:22	8:55	9:33	10:06
③西ノ浦	8:25	8:58	9:36	10:09
④老人の家の前	8:26	8:59	9:37	10:10
⑤カヌラ	8:27	9:00	9:38	10:11
⑥おひっこ公園	8:28	9:01	9:39	10:12
⑦ぼうげい病院前	8:32	9:05	9:43	10:16
⑧鹿ノ島	8:34	9:07	9:45	10:18
⑨伊藤橋	8:37	9:15	9:48	10:21
⑩伊藤橋ターミナル 南	8:40	9:18	9:51	10:24
⑪伊藤橋ターミナル 北	8:45	9:23	9:56	10:24
⑫伊藤橋神社南	8:46	9:24	9:57	10:25
⑬伊藤橋	8:48	9:26	9:59	10:27
⑭坊勢西島	8:50	9:28	10:01	10:29
⑮坊勢南島	8:52	9:30	10:03	10:31
定期船出船時刻	8:55	—	10:10	—

午後便のみ

定期船の時刻も記載

令和4年10月1日改正

わたしたちは、
坊勢コミュニティバスを応援しています!

坊勢輝汽船株式会社
男鹿島、坊勢島を結んで運航しております。
活気のある島、坊勢島へ観光・レジャー・
フィッシングに是非お越し下さい。

〒672-8063 姫路市飾磨区須加294
TEL (079) 234-1138(代)
FAX (079) 234-4488

坊勢渡船有限会社
坊勢港～家島(瀬戸港) 定期船を運航
しております。
また、海上タクシー、チャーター船も
お気軽にご利用下さい。
(船) 姫路港～いしま自然体験センター
各種冠婚葬祭なども予約承ります。
〒672-0103 姫路市家島町坊勢488
TEL (079) 326-0559
FAX (079) 327-1121

**HIKARI KANKOU
輝観光**
姫路港～坊勢～西島
海上タクシー・無人島渡し
予約・貸切なら待ち時間なしで島々に
渡る事ができます。
お気軽にお問い合わせ下さい。
TEL (079) 326-0444 (家島本社)
(079) 326-0218 (坊勢事務所)
FAX (079) 326-0218

医療法人社団 ほうぜ医院
理事長 下宮一雄
TEL (079) 326-0253
FAX (079) 326-0595

【取組事例⑥】行き先の路面標示案内により航路利用者の利便性向上に努める。(兵庫県)

